

着脱式連結ベルト

いつでも活用できるように大切に保管してください

このたびは、《着脱式連結ベルト》をお買い上げいただきありがとうございます。
本品は、墜落防止用としてハーネス型安全帯に墜落防止器具のフックを目視しながら掛けるための連結ベルトです。ハーネス部の取扱いについては、ハーネス型安全帯の取扱説明書を併読してください。

本品を有効にしかも安全にお使いいただくため、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。ご使用に際して、「5. 点検と廃棄の基準」にしたがって、点検を行なってください。なお、「4. 必ずお守りください（使用上の注意事項）」は事故を未然に防ぐためにとても大切ですので、必ずご使用前にお読み頂き、よくご理解の上ご使用ください。取扱説明書を紛失された場合は藤井電工(株)に請求してください。

また、より安全なご使用のため、労働安全衛生総合研究所技術指針「安全帯使用指針」(NIIS-TR-No37(2004))の併読をお奨め致します。

当社の安全帯ならびに墜落防止器具の使用につきましては、下記のような特殊な環境下においては、設計上の性能・機能が十分確保されない状況が発生することが考えられます。特殊な環境下でお使いになる場合は、「お客様相談窓口」までお問い合わせください。

特殊な環境下：①金属類に錆びの発生しやすい海上や海岸地域での使用、②摺動部の作動に悪影響をおよぼす可能性のある土砂等の付着しやすい現場での使用、③繊維類の劣化が考えられる高温域での使用、④酸やアルカリの付着が考えられる現場での使用など。

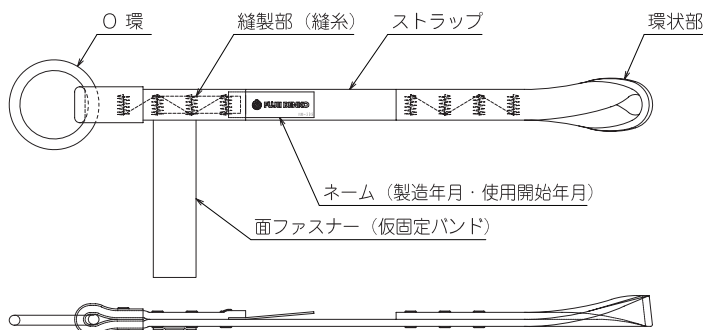
1. 用途

ハーネス型安全帯の背中のD環に取り付け、ベルブロック等のフックを目視しながら接続するための連結ベルトです。他の用途には使用しないでください。

2. 構造および各部のなまえ

着脱式連結ベルト NR-2型

※ 形状は一例を示します。



3. 使い方

ハーネスのD環への取付方法

<p>環状部 D環</p>	<p>O環 環状部</p>		<p>面ファスナー 肩ベルト</p>
<p>① ハーネスのD環に着脱式連結ベルトの環状部を通す。</p>	<p>② 環状部に着脱式連結ベルトのO環側を通す。</p>	<p>③ O環側を引き出し、D環より締め、形を整える。</p>	<p>④ 面ファスナーで肩ベルトに留める。(取付完了)</p>

ペルブロック等のフックを着脱式連結ベルトに掛ける方法

<p>フック O環</p>	<p>面ファスナー</p>
<p>① フックを着脱式連結ベルトのO環に掛ける。</p>	<p>② 面ファスナーを外し、連結ベルトを肩から外す。</p>

作業終了時

<p>面ファスナー 肩ベルト</p>
<p>フックを外した後は連結ベルトを面ファスナーで肩ベルトに留めておく。</p>

4. 必ずお守りください (使用上の注意事項)



危険

誤った使い方をしますと、墜落などの危険性がありますので、絶対にやめてください。

鋭い角に触れないようにしてください

ストラップが直接鋭い角に触れるおそれのある所では使用しないでください。

- 墜落阻止時に鋭い角でストラップ等が切断することがあり危険です。鋭い角のある構造物を避けるか、または構造物に丈夫な布などの保護材を巻いてご使用ください。

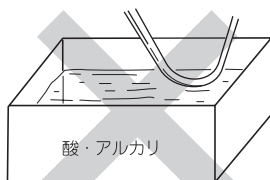


警告

誤った使い方をしますと、墜落などのおそれがありますので、やめてください。

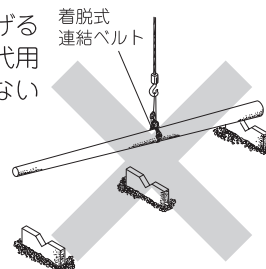
酸・アルカリを付着させないでください

- ストラップ等は合成繊維製のため、酸（バッテリー液など）・アルカリで溶解して強度が低下し、墜落阻止時に必要強度が得られず墜落するおそれがあります。



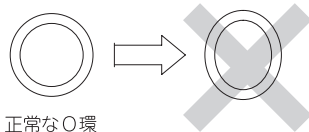
本品は墜落災害の防止用ですので他の用途には使用しないでください

- 部材などを吊り上げるスリングベルトの代用など、用途がえししないでください。



一度でも大きな荷重の加わったものは
廃棄してください

- 右図のような変形があれば、着脱式連結ベルト全体を廃棄してください。



正常なO環

- 外見上の変形がなくても、一度でも大きな荷重が加わったものは、再び墜落すると衝撃荷重が大きくなり、人体に損傷を及ぼすおそれがあります。着脱式連結ベルトを含む、ハーネスおよびランヤード全体を廃棄してください。

ストラップは高温部に近づけないでください

- ストラップが火気または高温部に触れないようにしてください。



雨の日は感電に注意してください

- ストラップ等が濡れて水分を含むと電気が流れやすくなり、感電するおそれがあります。



注意

安全にお使いいただくためにお守りください。

丁寧に扱ってください

折り曲げたり、重量物の下積みにしたりすると、ストラップ等が損傷して、強度低下します。本品に損傷をあたえるような扱いをしないでください。

屋外に放置しないでください

- 本品は合成繊維製のため紫外線によっても強度が低下します。

藤井電工(株)製の安全帯と組み合わせてください

- 異なるメーカーのものを組み合わせると必要強度や機能が得られない場合があります。

5. 点検と廃棄の基準

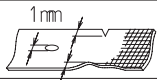



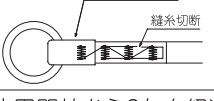
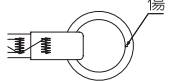
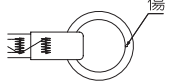
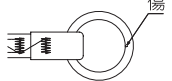
安全帯および安全帯関連器具は消耗品であり、使用しているうちに摩耗等により性能が低下します。従って点検において1項目でも廃棄基準に該当するものは、機能不良や強度不足になりますので新品と取り換えてください。

始業点検：使用する人が作業前に毎回行ってください。

定期点検：使用する人もしくは管理者により1ヵ月ごとに行ってください。

管理者点検：管理責任者が必要に応じて随時点検を行ってください。

異常時点検：作業中異常を感じたら直ちに作業を中止し、点検を行ってください。

点検箇所	点検方法と廃棄基準	始業点検	定期点検
ストラップ	 耳または幅の中で1mm以上の損傷・焼損・擦り切れのあるもの。	○	○
	 薬品が付着したもの。薬品により変色・溶解箇所があるもの。	○	○
	 塗料が著しく付着して、硬化しているもの。	○	○
	 全体的に波打っていたり、ねじれたり、変形しているもの。	○	○
	 摩耗防止ベルトが破れているもの。 縫糸切断 縫糸が1個所以上切断しているもの。	○	○
	使用開始から2年を経過しているもの。(損傷がなくても紫外線によって劣化し強度が低下します。)		
O 環	 深さ1mm以上の傷があるもの。	○	○
	 目視で分かる程度の大きな変形のあるもの。	○	○
	 全体に著しい錆・腐食が発生しているもの。	○	○

6. 保管・手入れのしかた

(1) 次のような場所で保管してください。

- ①直射日光に当たらない所。②風通しがよく、湿気の少ない所。③火気・放熱体などが近くにない所。
④腐食性物質と同室でない所。⑤塵埃の少ない所。⑥ねずみなど小動物の入らない所。

(2) 物品の下積みなどにより傷や変形が起こらないようにしてください。

(3) 泥・埃・油・砂・土・水などが付着している場合は、乾いた布等で拭き取ってください。

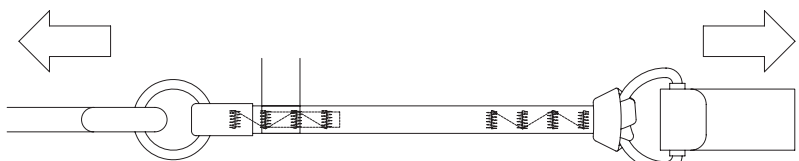
7. 交換のめやす（耐用期間）

使い方によって異なりますが、交換のめやすとしては使用開始年月から2年くらいをめどとしてください。ただし、耐用期間内であっても「5. 点検と廃棄の基準」にしたがって点検を必ず実施し、廃棄基準に該当するものは使用しないで、新品と取り換えてください。

- 使用を開始した年月をネームタグに必ず記入してください。

8. 性能

この数値は新品時の引張強度（静荷重）です。特に繊維部分の強さは、使用による摩耗・紫外線劣化・その他の要因によって経年とともに低下します。「5. 点検と廃棄の基準」の項目を参照して、始業（定期）点検を十分に行ってください。

試験方法	社内試験結果
	18.0 kN

9. お客様相談窓口

この取扱説明書の内容につきおわかりになりにくいときや、製品の取扱いについてご不明な点がありましたら、お買い上げの販売店、または下記のご相談窓口にお問い合わせください。

藤井電工株式会社 URL=<http://www.fujii-denko.co.jp/>

本社営業部	〒679-0295 兵庫県加東市上滝野1573番地2	TEL(0795)48-3360	FAX(0795)48-3409
東北地区 仙台営業所	〒983-0842 仙台市宮城野区五輪2丁目9番5号 五輪ビル	TEL(022)256-7001	FAX(022)295-7423
関東地区 東京支社	〒103-0004 東京都中央区東日本橋1丁目7番2号 長坂ビル	TEL(03)5821-2241	FAX(03)5821-2170
中部地区 名古屋営業所	〒460-0012 名古屋市中区千代田3丁目16番5号 ニュー千代田ビル1階	TEL(052)322-6081	FAX(052)322-6286
関西地区 大阪営業所	〒530-0041 大阪市北区天神橋1丁目8番13号 林ポタンビル	TEL(06)6882-3355	FAX(06)6242-2170
九州地区 福岡営業所	〒812-0008 福岡市博多区東光2丁目22番33号	TEL(092)413-6110	FAX(092)413-6120

北海道・北陸・中国・四国・沖縄地区は、本社営業部のご相談窓口にお問い合わせください。